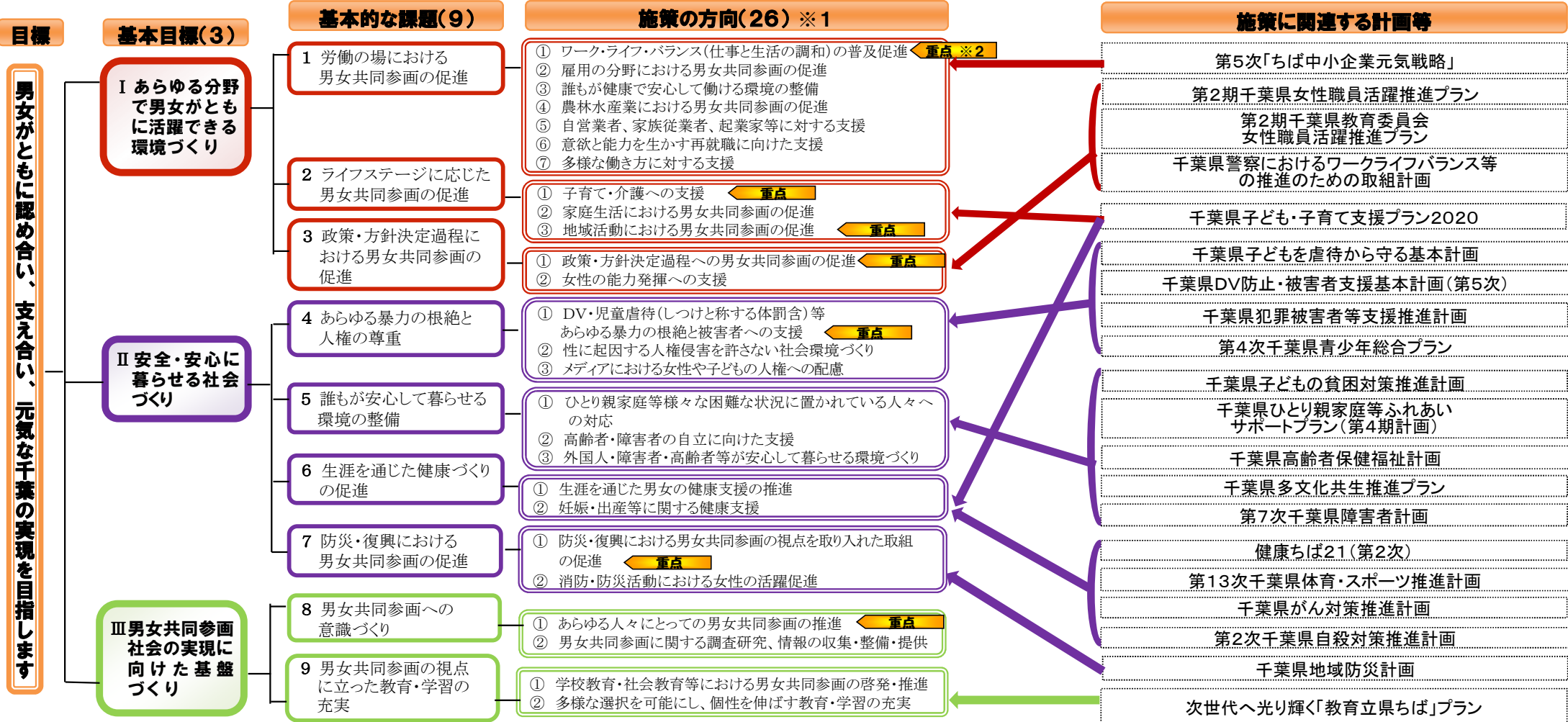


「第 5 次千葉県男女共同参画計画」の 推進（令和 6 年度の取組）について

1. 本県の男女共同参画の令和6年度の推進状況について

○ 男女共同参画社会の実現に向けた課題や取組状況について、第5次計画に位置付けた施策に関連する計画等の所管課と情報共有、総合調整し、第5次計画の着実な推進を図っている。

第5次計画の関連計画体系図



※1 施策の方向に紐づく関連事業265 ※2 重点7分野103事業

2. 令和6年度千葉県男女共同参画への取組の現状 ①

基本目標Ⅰ あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり

1 国の状況（女性版骨太の方針2024）

- 女性登用に対する社内の意識醸成や、育児等との両立の観点を踏まえた雇用管理・キャリア形成支援等、各企業の課題に対応しやすい形での女性登用施策の横展開を通じて企業の取組を促進する。
- 地域の人手不足への対応として女性や高齢者などの潜在的な労働力の掘り起こしが重要であり、特に地域の中小・中堅企業において、労働条件・柔軟な働き方への対応などの取組を進める。

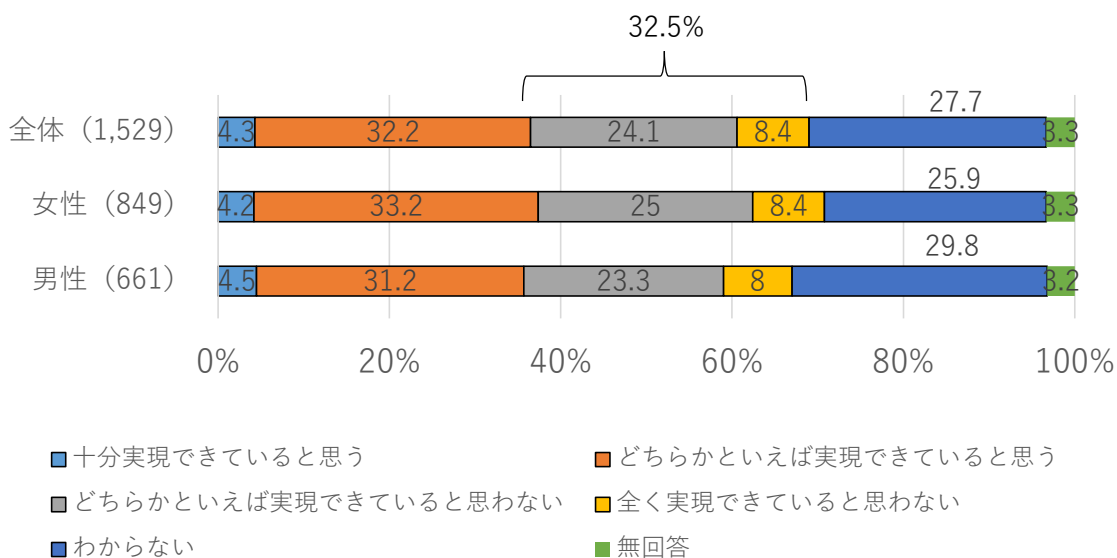
2. 令和6年度千葉県男女共同参画への取組の現状 ①

基本目標Ⅰ あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり

2 県の状況

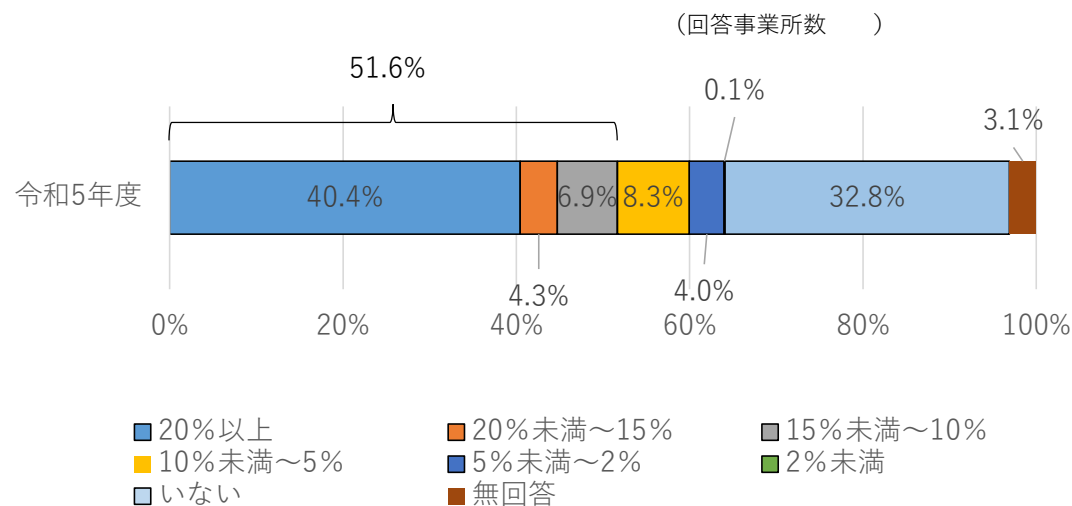
- 3割以上の方が「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現できていない」と回答。
- 管理職に占める女性の割合については、5割以上の事業所が「10%以上」と回答した一方で、約3割の事業所が「女性管理職がない」と回答。

ワーク・ライフ・バランスの実現度（千葉県）



【出典】千葉県「第61回県政に関する世論調査」（令和2年度）

一事業所当たりの女性管理職の割合



【出典】千葉県雇用労働課調べ「働きやすい職場環境づくり取組状況調査」（令和6年3月）

2. 令和6年度千葉県男女共同参画への取組の現状 ①

基本目標Ⅰ あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり

3 令和6年度の県の取組

◇男女共同参画サミット【新規】

- ・幅広い分野の県内企業経営者や関係団体等を対象に、組織における女性活躍がもたらす効果や、そのための環境づくり等をテーマとした基調講演及びパネルディスカッションを実施。

◇女性活躍推進のための異業種交流会【新規】

- ・様々な業種の県内企業経営者等を対象に、職場での女性活躍に向けた環境づくりの成功事例を共有し、実践的な取組につなげることを目的とした異業種交流会を実施。

◇男女共同参画推進事業所表彰【継続】

- ・女性の登用や職域拡大等に取り組む県内事業所（中小企業や民間団体等）を表彰し、冊子や動画で受賞事業所の取組事例を広報・周知。

◇千葉県ジョブサポートセンター事業【継続】

- ・多様な人材の活躍促進と中小企業の人材確保のため、子育て中の女性や中高年齢者などを対象とした再就職・就職後の定着を支援。

2. 令和6年度千葉県男女共同参画への取組の現状 ②

基本目標II 安全・安心に暮らせる社会づくり

1 国の状況（女性版骨太の方針2024）

- 全ての人々が個性と能力を十分に発揮し、生きがいを感じられる、多様性（ダイバーシティ）が尊重される社会を実現する。
- 令和6年4月に施行された「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づき、困難な問題を抱える女性一人ひとりのニーズに応じて、包括的な支援を実施する。

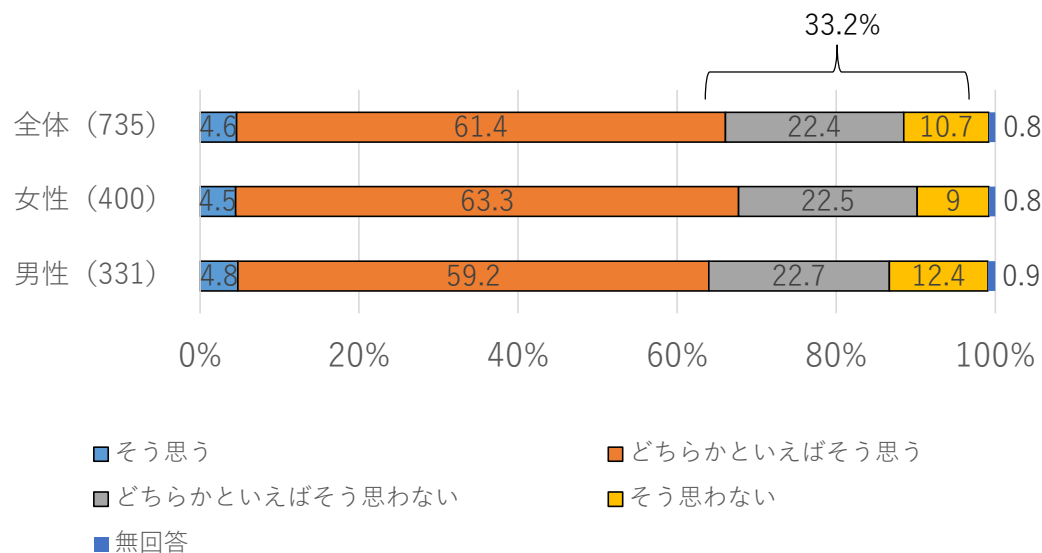
2. 令和6年度千葉県男女共同参画への取組の現状 ②

基本目標II 安全・安心に暮らせる社会づくり

2 県の状況

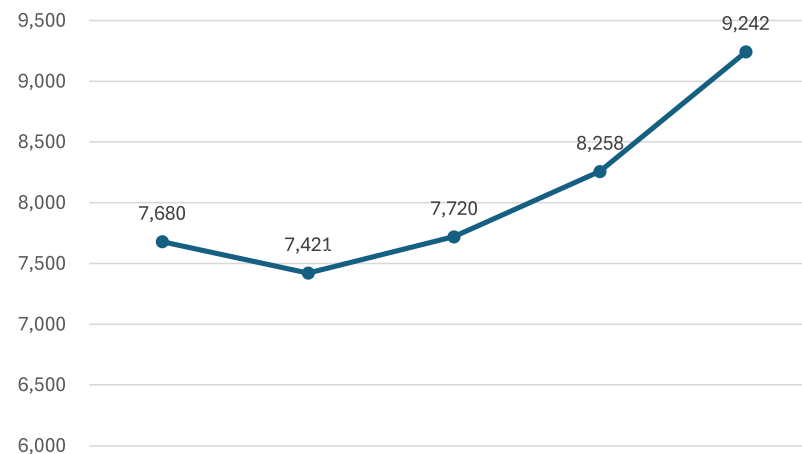
- 「ダイバーシティ社会」の実現について、3割以上の人々が「実現できていない」と回答。
- 「女性サポートセンターへの相談件数」が増加傾向。

千葉県における「ダイバーシティ社会」の実現について



【出典】千葉県「第65回県政に関する世論調査」(令和5年度)

女性サポートセンター 相談件数の推移



【出典】千葉県児童家庭課調べ
「令和5年度千葉県男女共同参画白書」をもとに作成

2. 令和6年度千葉県の男女共同参画への取組の現状 ②

基本目標Ⅱ 安全・安心に暮らせる社会づくり

3 令和6年度の県の取組

◇多様性尊重条例施行後の取組【新規】

- ・多様性尊重の意義を県民と広く共有していくため、様々な方に参加いただき、多様性が尊重される社会づくりに取り組むことを共同で宣言する「ちばダイバーシティ宣言」を実施するとともに、啓発動画やリーフレットを作成するほか、企業向けセミナーを実施する。



◇困難な問題を抱える女性の支援【新規】

- ・「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づき、「千葉県困難な問題を抱える女性支援基本計画」を策定。
- ・民間支援団体と密接に連携し、繁華街等での夜間見回り等のアウトリーチからの相談、居場所の確保、公的機関・施設への「つなぎ」を行い、様々な困難な問題を抱える女性の自立に向け支援。

2. 令和6年度千葉県男女共同参画への取組の現状 ③

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり

1 国の状況（女性版骨太の方針2024）

- 人々の中にある固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消
- 児童・生徒の理科教育における興味・関心をより高め、理系分野等を選択する児童・生徒の増加につながるよう、理系分野等の専門知識を有する外部人材が学校現場で活躍できる環境を醸成する取組を一層促進する。

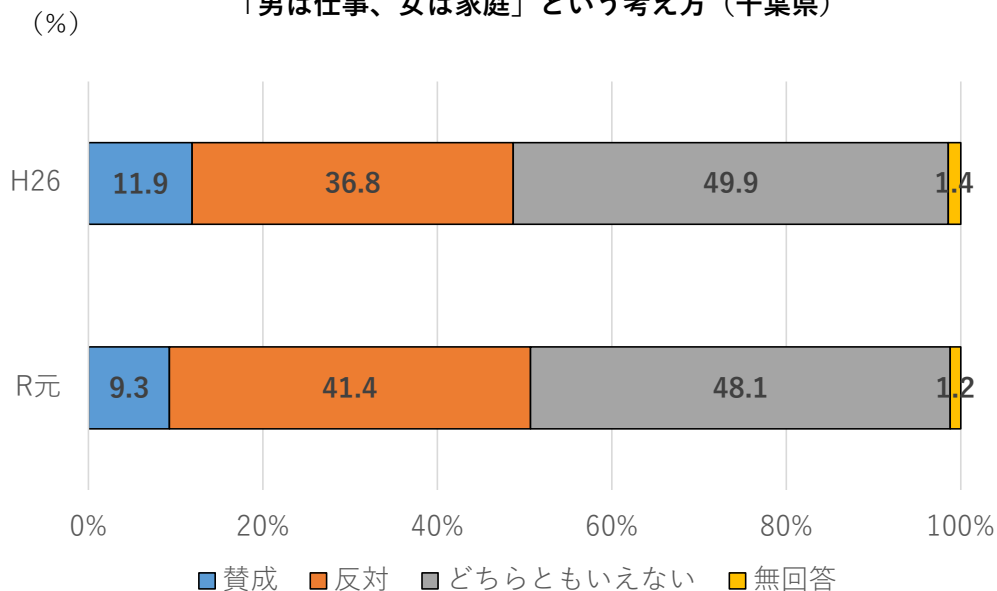
2. 令和6年度千葉県男女共同参画への取組の現状 ③

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり

2 県の状況

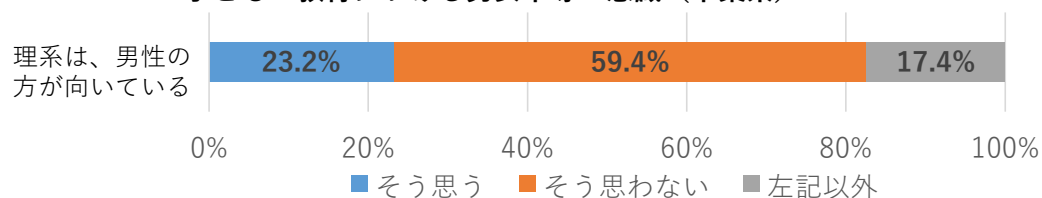
- 「男は仕事、女は家庭」という考え方に「賛成」する人は減少しており、1割を切っている。
- 「理系は男性の方が向いている」と思う人の割合も約2割にとどまる一方、理工系分野への大学進学率は男女間の差がある結果となっている。

「男は仕事、女は家庭」という考え方（千葉県）



【出典】令和元年度男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査（前回調査との比較）

子どもの教育における男女平等の意識（千葉県）



【出典】千葉県男女共同参画課「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査報告書」（令和元年）

専攻分野別大学等進学者数（公立高校・千葉県）



【出典】千葉県教育委員会「令和5年度・進路状況調査」より抜粋

2. 令和6年度千葉県男女共同参画への取組の現状 ③

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり

3 令和6年度の県の取組

◇「男女共同参画県民フェスタ」の開催【新規】

- ・ 広く県民を対象に、地域で活躍する民間団体や、大学生等によるワークショップなどを開催するほか、新たにクイズやスタンプラリーを導入することで、楽しみながら男女共同参画への理解を深めることができる、参加型のイベントを実施する。

◇STEAM教育の推進【新規】

- ・ 外部人材による教科横断型の特別授業を県立高校で実施し、理数の魅力・楽しさを伝え、探究心を引き出すとともに、学習の意義を見だし、学習意欲の向上を図る。

◇男女共同参画センター相談事業【継続】

- ・ 女性及び男性の総合相談として、それぞれ専用の相談窓口にて、一般相談（電話相談・面接相談）及び専門相談（カウンセリング）を実施する。